

科学研究費助成事業（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	22227003	研究期間	平成22年度～平成26年度
研究課題名	ミトコンドリア膜を舞台としたタンパク質の交通管制機構の解明	研究代表者 (所属・職)	遠藤 斗志也 (名古屋大学・理学研究科・教授)

【平成25年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準
○ A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
A-	当初目標に向けて概ね順調に研究が進展しており、一定の成果が見込まれるが、一部に遅れ等が認められるため、今後努力が必要である
B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
<p>(意見等)</p> <p>ミトコンドリアは、エネルギー生産だけでなく、細胞死や自然免疫など多彩な機能を持つオルガネラとして近年注目を集めている。本研究では、ミトコンドリア膜を舞台にしたタンパク質の交通制御機構の解明を目指し、ミトコンドリア-小胞体接合複合体構成因子の構造決定、外膜-内膜結合部位での構成因子の決定、内膜におけるトランスロケータと呼吸鎖複合体との相互作用の解明、脂質生合成と配送をつなぐタンパク質の同定など、計画に沿って順調に成果を重ねた。</p> <p>これらに加え、小胞体だけでなく液胞やエンドソームとの間にミトコンドリアの接合が存在する可能性やミトコンドリアノンストップタンパク質に関する新知見などが得られており、当初計画以上の成果が見込まれる。</p>	